



ライフプランはあなたの人生の設計図



! ライフプランってなんだろう?

ライフプランは、人生の計画図のようなものです。これからの人生において、いつ頃、どのようなライフイベントが起こるのかを考えたり、必要になりそうな費用を予想してみたりすることで、未来に向けて「だから今、どうする?」をなるべく具体的にするための作業ともいえます。



！ ライフイベントには何があるの？

「進学」「就職」「結婚」など、人生で起こりうる様々な出来事を「ライフイベント」といいます。ライフイベントの数や時期は人によって異なりますが、まずはこの先の10年間で自分に起こりうるライフイベントを考えてみましょう。

ライフイベントの例



就職、転職

就職によってどのくらいの収入を得られるかで、生活にかけられる金額も変わってきます。



結婚

結婚するときには、結婚式や新婚旅行、新居の準備など、まとまった費用が必要になります。



出産・育児

子育てには教育費をはじめとした費用がかかります。何歳のときに、何人産むかなどによって、ライフプランが変動します。



大学や専門学校への進学



一人暮らし



車の購入・買い替え



住宅購入

多様化するライフプラン

ライフイベントには多くの選択肢があり、様々な価値観に応じて、ライフプランも多様化しています。

家族

結婚する
しない

子どもがいる
いない

片働き
共働き

仕事

正規
非正規

副業
転職

定年後
も働く

住まい

持ち家
賃貸

リフォーム
住み替え

都市/
郊外に移住

！ 近い未来のライフプランを描いてみよう

皆さんは、いずれ社会人になります。まずはこの先の約10年でどんなライフイベントがありそうか、考えてみましょう。そして、理想とするライフプランになっているか、今何をすべきかを考えてみましょう。

私の場合は
どうなるのかな？



≫ 資4
A-C

≫ ㊦4

まとめ

ライフプランを描けば、「今」やるべきことが見えてくる

何事も
ケーカク!
ケーカク!

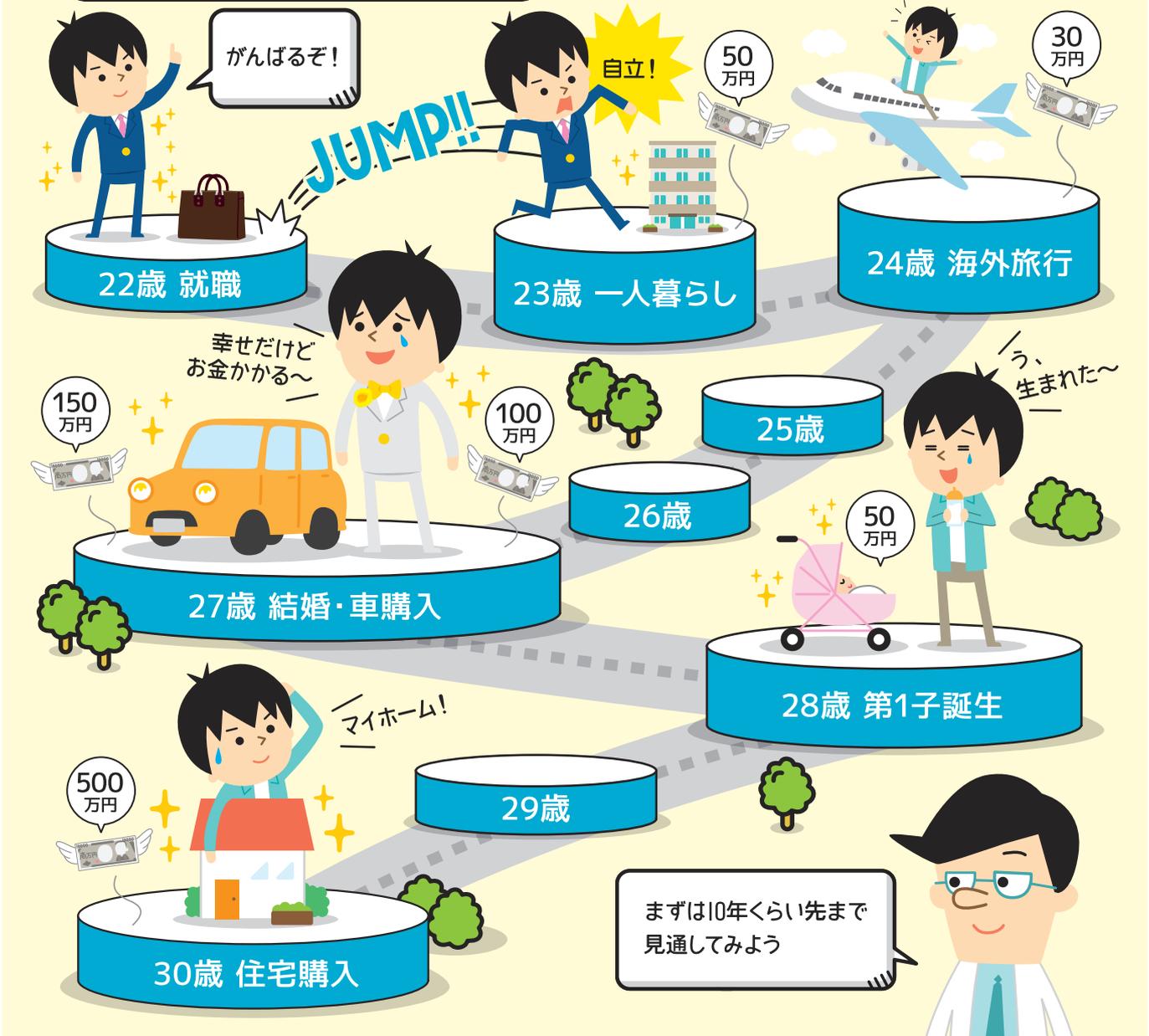


資金計画を立てる

ライフイベントには費用がかかります。

ライフプランがイメージできたら、次は資金計画です。一人暮らしや結婚などのライフイベントを実行するには、たくさんの費用がかかります。ライフプランで描いたイベントには、どのくらい費用がかかるか、イメージしてみましょう。そして、その費用をどうやって準備するかを考えることが資金計画です。

・ ライフイベントと費用のイメージ(例) ・



※各ライフイベントおよび費用は一例です。
※結婚費用はご祝儀等による収入を合計したものであり、かかった費用のすべてではありません。

ライフイベントと費用のイメージ

ライフイベントの中でも、多くの費用がかかるものに結婚費用、教育資金、住宅資金、老後資金があげられます。そのうち、教育資金、住宅資金、老後資金は「人生の3大資金」と呼ばれています。多くの費用が必要ということは、貯めるのにたくさんの時間がかかるということ。早めに準備する＝資金計画を立てることが大切です。

結婚費用

>>>
資6
A

結婚式を挙げるには、平均で約327万円の費用がかかります。実際にはご祝儀などで負担は減りますが、まとまったお金を準備しなければいけません。



愛だけで結婚式は
挙げられないの？

挙式・披露宴・
披露パーティー総額
平均**327**万円

※千円単位を四捨五入した金額。

出典：リクルートマーケティングパートナーズ
「ゼクシィ結婚トレンド調査2023」

教育資金

>>>
資6
B-D

幼稚園(保育園)から、大学などを卒業するまでの学費を教育資金といいます。進学先によって、必要な費用は変わってきます。



教育費の平均額(1人あたり)

幼稚園～4年制大学卒業まで

すべて公立
大学は
国立文法政経商社系
810
万円

すべて私立
大学は
私立理工系
2,394
万円

※千円単位を四捨五入した金額。

※それぞれの学費に生活費は含まれない。

※大学入学金は含まれない。

出典：文部科学省「令和3年度子供の学習費調査」、
日本学生支援機構「令和2年度学生生活調査結果(大学層間部)」

住宅資金

>>>
資6
E

家を借りたり、買ったりするのに必要な費用を住宅資金といいます。借りる場合は決められた家賃を月ごとに払い、買う場合は高価な買い物なので、分割して払うことが多いです。

住宅にかかる費用の例

	建売住宅(新築)の場合
購入	平均 3,719 万円※1
賃貸	一戸建て・アパート等(1か月の家賃) 平均 6 万円※2

※千円単位を四捨五入した金額。

出典：※1住宅金融支援機構「2022年度フラット35利用者調査」

※2総務省統計局「平成30年住宅・土地統計調査住宅及び世帯に関する基本集計」

老後資金

>>>
資6
F

退職後は、年金による収入を中心に生活することになります。しかし、年金だけでは不足することが多く、それを補うために用意する費用のことを老後資金といいます。

老後の1か月の支出のイメージ

65歳以上の夫婦のみの無職世帯	
収入	244,580 円
支出	282,497 円
差額	-37,916 円

※0円未満を四捨五入した金額。

出典：総務省統計局「家計調査報告(家計収支編)
2023年(令和5年)平均結果の概要」



資金計画はなんでも早めが肝心



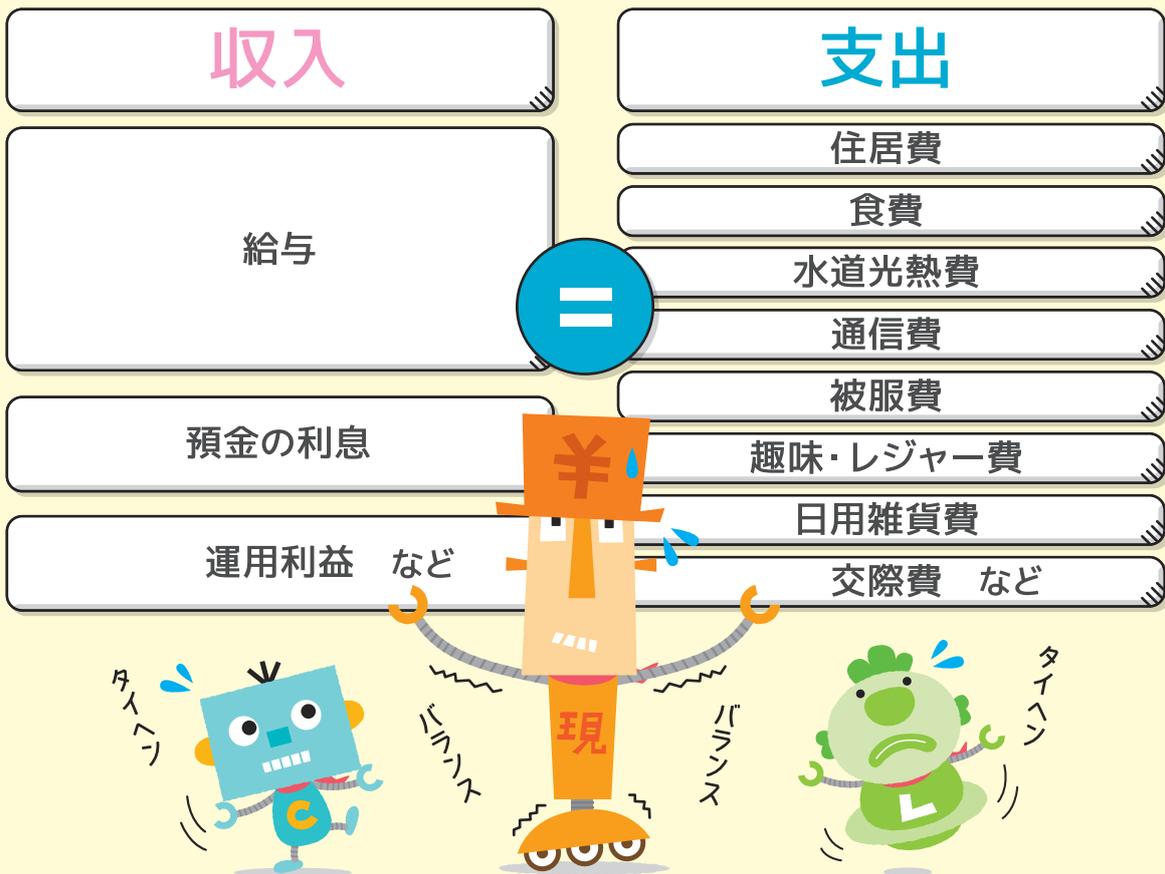
家計管理の必要性とは？

！ “家計”ってなんだろう

家計は、収入(入ってくるお金)と支出(出ていくお金)から成り立っています。収入には、給与などの働いて得られる収入のほかに、預金の利息なども入ります。一方の支出は、住居費や食費、光熱費のように、生活するのに欠かせない出費のほか、趣味・レジャー費のように自分のために使うお金も含まれます。



家計のイメージ



家計は、収入と支出のバランスで成り立っている

家計管理の必要性と家計簿

家計を適切に管理することで、無駄遣いを減らし、お金の使い方を見直すことができます。その結果、家計にも余裕が生まれ、将来に向けた資金計画が立てやすくなります。そこで役立つのが使ったお金を記録する家計簿です。記録することで使ったお金の額や、使い方の特徴が分かります。最近では、専用アプリなどで支出額を管理する人も増えています。利用しやすい家計簿を選び、支出を管理する習慣をつけておきましょう。

>>> 資8
A-B

家計簿のイメージ例		4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)
食費	560円	870円		980円	
外食費				1,500円	
日用品代		1,980円			
衣類・美容費	3,000円				
交通費				480円	
医療費					
趣味・娯楽費	2,000円				
小計	5,560円	2,850円		1,980円	

毎日の支出額をジャンル別に書いていくのね

>>> 資8
78

一人暮らしの家計簿を見てみよう

右図は、社会人1年目の人の家計簿例です。一人暮らしの場合、家賃は収入の3分の1程度に抑えるのが一般的です。思わぬ出費に備えて、支出と収入のバランスに気を配りながら、少しずつ貯蓄をしていきましょう。



家計簿をつければ
支出額や貯蓄額が
しっかりと
把握できます

手取り収入15万円の家計簿例

支出	
住居費	50,000円
食費	25,000円
水道光熱費	12,000円
携帯電話代	8,000円
日用雑貨費	5,000円
被服費	10,000円
趣味・レジャー費	10,000円
交際費	10,000円
雑費	5,000円
貯蓄	15,000円
支出合計	150,000円

>>> 資8
C-E



家計管理は、あなたを支える基盤

税金と社会保険料

働き始めたら、所得税や住民税、健康保険料や年金保険料などを支払う義務が生じます。具体的な金額や支払う理由について確認してみましょう。

税金や社会保険料は、給与（収入）から直接引かれる

給与明細の例							
	基本給	残業手当	通勤手当	家族手当	資格手当	業務手当	総支給額
支給(円)	200,000	20,000	10,000	0	10,000	0	240,000
	健康保険	厚生年金	雇用保険	所得税	住民税		控除額計
控除(円)	11,980	21,960	1,440	5,500	15,000		55,880
							差引支給額
							184,120

健康保険

健康保険とは、病気やケガをした場合に、少額の自己負担で治療を受けられる制度です。

雇用保険

雇用保険とは、失業した場合に、再就職までの間の生活費をサポートする手当などが受け取れる制度です。

所得税

個人が1年間で得た、所得に対してかかる税金です。

住民税

住所地の都道府県と市区町村に納める、2つの地方税を合計した税金です。

厚生年金

厚生年金とは、会社員が現役時代に毎月支払うことで、老後に年金を受け取れる制度です。

総支給額

基本給に残業手当、資格手当などを加えたものが総支給額となります。

※上記の金額は一例であり、実際の金額とは異なる場合があります。
※ボーナスは年間4ヶ月分と仮定。健康保険料は協会けんぽの東京都の例。



お給料って全額使えるわけじゃないんだね...

税金や社会保険料による支出を「非消費支出」といいます

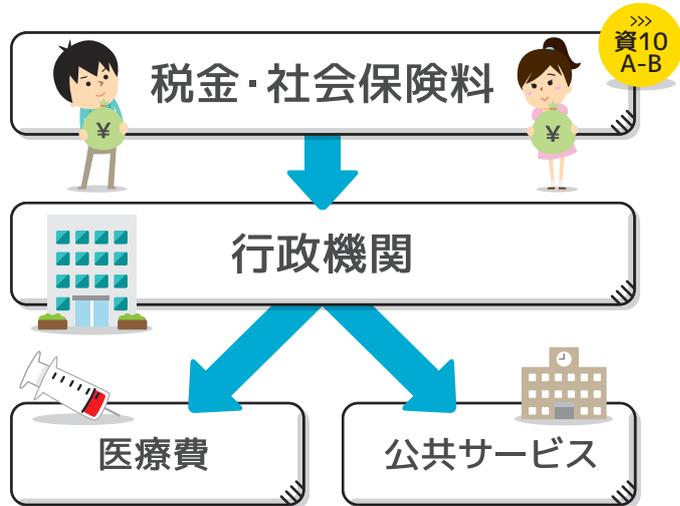


収入 $-$ 税金・社会保険料 (非消費支出) $=$ 可処分所得 (手取り収入)

税金や社会保険料は、何のために支払うの？

納税は、国民の義務の1つで、私達が健康で豊かな生活を送るために欠かせないものです。納められた税金や社会保険料は、国や地方自治体などによって、公共サービスの提供や、もしものときの社会保障として使われたりします。たとえば、病気やケガをした場合に、少額の自己負担で治療が受けられるのも、社会保険料を支払っているからです。

税金や社会保険料は、基本的に収入が多い人ほどたくさん払う仕組みになっています。ただし、社会保険料は一定の上限額が決められていて、収入に応じて無限に増えるわけではありません。



社会保険料を支払わないと…

私達は、一定の条件を満たすと各種の社会保険に加入することとなり、保険料の支払いが義務付けられます。たとえば、年金保険制度は、20歳になれば全員が加入します。※

しかし、必要な手続きを行わずに決められた保険料を長期間支払わなかったりすると、老後に年金がもらえなくなる可能性があります。また、健康保険料を滞納すると、病気やケガをしたときの医療費は全額自己負担になってしまいます。

もし家計が苦しく、保険料の支払いが難しい場合は、滞納する前に市区町村の窓口などに相談しましょう。

※20歳未満で働いている場合は働き始めてから。



自営業の人は、どうやって払う？

社員の場合、給与から税金や社会保険料が引かれていますが、実は社会保険料の半分程度を会社が負担してくれている仕組みになっています。

これに対して、会社から給料をもらうのではなく、独立して働いている自営業者や個人事業者(フリーランサー)は、1年間に稼いだお金とかかった経費を計算して税務署に申告します。申告した収入をもとに、所得税や住民税、国民健康保険料などが決められて、その金額をすべて自分で支払います。





貯蓄の役割

！ 貯蓄は将来に備えるための必須アイテム

家計管理は「収入と支出のバランスをとること」ですが、支出が収入を超えなければよいというだけではありません。結婚や住宅の購入など、将来のライフイベントの資金を用意する方法として重要なのが貯蓄です。貯蓄には、ケガや病気などによる、不意の出費に備えるという役割もあります。

しかし、あまったお金で貯蓄をしようとしても、なかなか思いどおりにできないものです。そのため、給料をもらったなら先取りで貯蓄をし、その残りを「使えるお金」と考えると、計画的に貯蓄ができます。



手取り収入



先取り貯蓄



使えるお金

！ 貯蓄をするなら、銀行口座が安全で確実

毎月の収入から、いくらのお金を手元に置いておくのも、貯蓄といえるかもしれませんが。しかし、手元に現金があったら、つい使ってしまうこともあるでしょうし、もしも盗難や火事に遭った場合、大切なお金を失うことにもなりかねません。

そのため、安全に貯蓄をするには、銀行口座に預けておくのが確実な方法です。個人が利用する銀行口座には、おもに普通預金と定期預金の2つがあります。

おサイフ代わりの 普通預金

普通預金は、入金や引出しが自由にできるのが、最大の特徴です。気軽に利用できる反面、金利は低めに抑えられています。

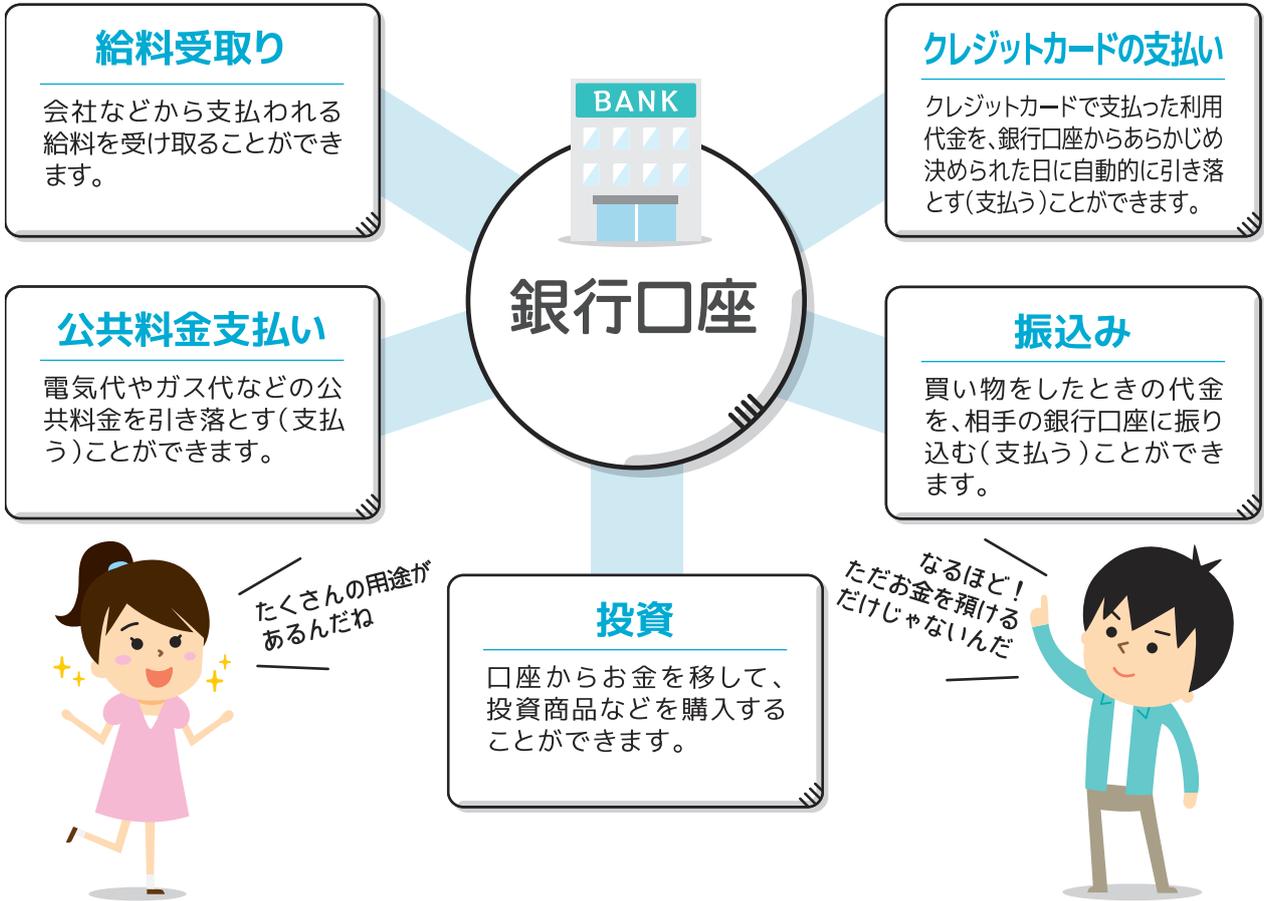


安全確実に増やす 定期預金

定期預金は3か月や6か月、1年、2年、3年、5年などの預け入れ期間を選び、満期(預け入れ期間終了)まで解約しないことを前提に預ける預金のことです。

銀行口座を中心としたお金の流れ

銀行口座は、お金を預けるためだけでなく、給料の受取りやクレジットカードの支払いなど、様々な用途のお金のやりとりに活用できます。その具体例を見てみましょう。



銀行口座の開設方法

口座を開きたい銀行に必要な書類などを提出して申し込みます。窓口で申し込んだ場合、必要な書類がそろっていれば、最短でその当日に口座が開設できます。

そのほかにも、インターネットやアプリなどで申し込み、必要な書類などを郵送でやり取りする開設方法もあります。

◎ 口座開設に必要なもの

- 本人確認書類**
(運転免許証・マイナンバーカード・パスポートなど)
- 印鑑** **印鑑証明書** (法人の場合) など

※銀行や開設の方法によって必要なものは異なります。本人確認書類は複数必要な場合もあります。

まとめ

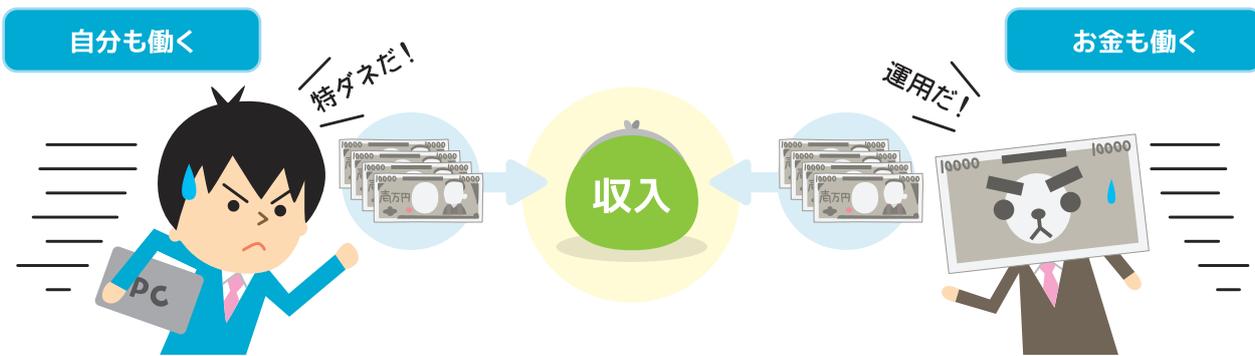
自分に合った貯蓄の方法を見つけよう

運用の役割

！ お金にも働いてもらう

資産運用とは、言い換えれば「お金にも働いてもらう」イメージです。社会人になれば、自分自身も一生懸命働きますが、同時に自分が持っているお金を効率的に運用して、お金にも働いてもらうという考えも大切です。

社会人になってしばらくの間は、まずは貯蓄に励みたいものですが、少しずつ貯蓄が増えてきたら、その先は「資産運用」のことを考えてみましょう。その結果、お金を増やせれば、余裕を持ってライフイベント(P4参照)を迎えられるでしょう。



！ 投資は貯蓄では得られない利益を目指す

資産運用を行ううえで欠かせないのが、積極的な利益を目指す「投資」という考え方です。「投資」とは、将来に有望な企業やものに資金を投じることです。

投資は、運用状況によって、投じた資金(元金)が減ってしまう可能性もあります。しかし、短期ではなく長期的な運用を行えば、利益を得られるタイミングで換金できるため、お金を効率的に増やしやすくなります。

投資

大きな利益を得られる

可能性もあるが、損をするケースもある



貯蓄

大きな利益は得られないが、**もとのお金が減る心配はない**

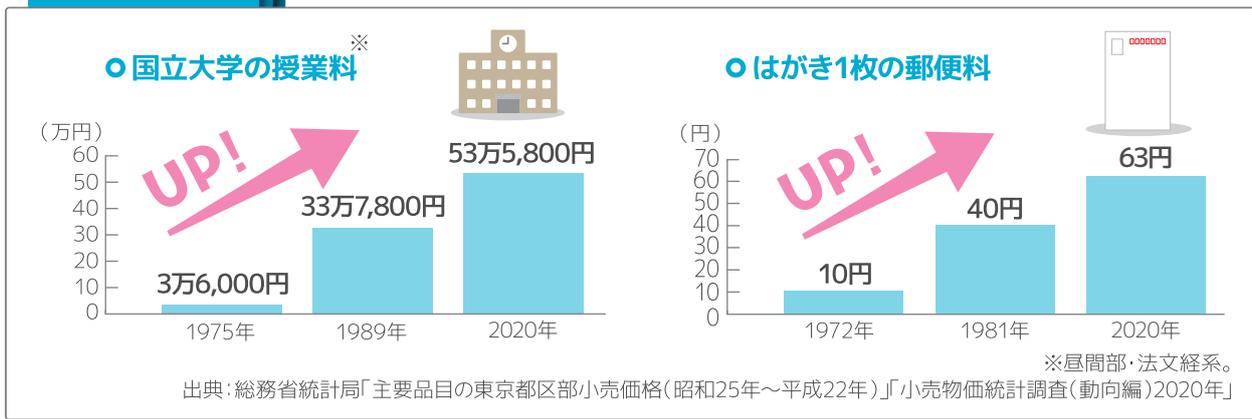


! お金の価値は上がったり下がったりする

私達がものを買うとき、いつでも同じ価格で買えるわけではありません。たとえば、現在100円で買えるものが、数年後には110円に値上がりしている可能性もあります。このようにものの値段が変わることを「物価が変動する」といい、物価は上がるだけでなく、下がることもあります。

ものの値段が動けば、お金の価値が変動します。先ほどのケースで、100円で買ったものが110円出さないと買えなくなるのは、物価が上がり、お金の価値が下がるということを意味します。

物価が変動した例



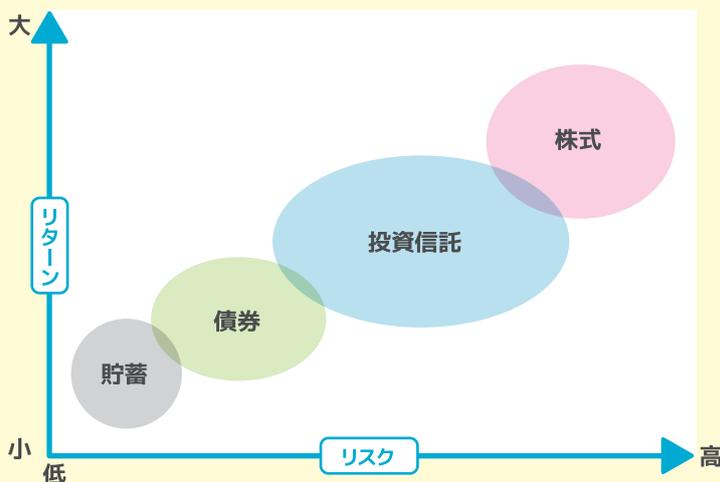
預金で貯蓄しているだけでは、将来お金の価値が下がった場合に、必要な資金を用意できない可能性があります。そのため株式や不動産などの価値が目減りしにくいもので資産運用することで、お金の価値の変動に備えることができます。

リターンとリスク

リターンとは、投資したお金が増えたり、減ったりする結果のこと。リスクとは、投資したもとのお金(元金)が増えたり、減ったりする可能性の幅のことを指します。



金融商品ごとの
リターンと
リスクについて
確認しましょう



>>> 資
14



運用によって、お金の価値の変動に備えられる

金融商品の選び方

金融商品の3つの性格

3つの性格すべてを満たす商品はありません!

金融商品には、安全性・収益性・流動性の3つの性格があり、自分の目的に合った商品を探すことが大切です。

安全性

預けたお金が減ったりしないかどうか

安全性が高いとお金は大きく増えません。

収益性

どれだけ収益(利益)が期待できるか

収益性が高いと、安全性や流動性が低くなるのが一般的です。

流動性

預けたお金を自由に引き出せるかどうか

流動性が高いと、必要なときにすぐにお金を引き出せて便利ですが、利息はあまり付きません。

外貨預金

外貨預金は、日本円を海外の通貨に替えて預ける預金のこと。外貨預金は、円預金よりも高い金利が付く場合が多くなっていますが、為替レートによって将来の受取額が変わってきます。

そのため、円を海外の通貨に、海外の通貨を円に交換するタイミングによって、収益に大きな影響を与えます。

外貨預金の仕組み

100万円を外貨定期預金(アメリカドル)にする場合

円から外貨へ

外貨預金

外貨から円へ

為替相場が1ドル=100円の時



※手数料・税金・金利は省略しています。

株式

株式(株券)は、株式会社に資金を出資している証明として、株主に対して発行されます。つまり、株式を保有することは、その会社に対して出資することを意味します。たとえわずかでも、株式を購入すれば、投資した会社の株主になります。

株式を保有している間は、定期的に配当金(会社が得た利益の還元)がもらえるほか、購入した株式が値上がりした後に売却すれば、値上がり益を得られます。



債券

債券とは、国や企業などが、お金を借りる際に発行する文書(有価証券)のことです。

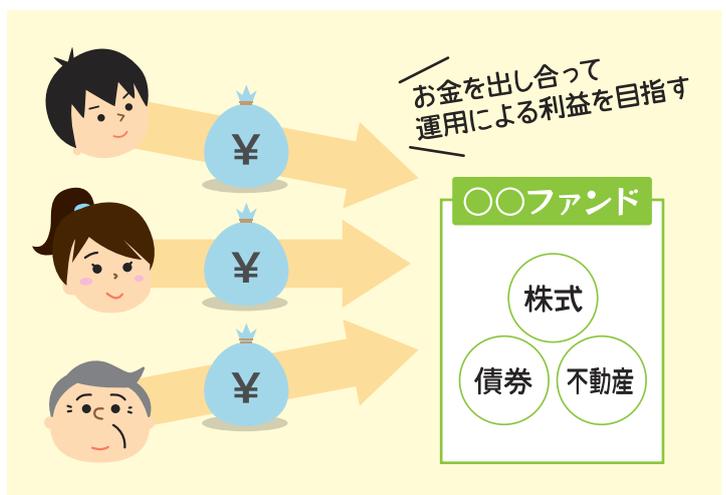
債券は、1年、2年、5年、10年など、あらかじめお金を返す期限日(満期)が決められて発行されます。保有している間は定期的に、あらかじめ決められた利率にもとづいた利息がもらえ、満期になれば、貸したお金が戻ってきます。



投資信託

投資信託は、多くの人からお金を集めてファンド(運用の基金)を作り、その資金を運用のプロが効率的に投資してくれる仕組みです。

投資信託のメリットは、数千円や数万円などの少額の資金から始められること。近年では100円から投資できる場合もあります。そして、専門家が運用するため、運用の知識が豊富でなくても投資に参加できます。



それぞれの性格を理解して、金融商品を選ぼう

ライフプランの中での借入れ

借入れは将来の収入の先取り

借入れは、自分の手持ちのお金だけでは支払えない場合、足りない分を金融機関などから借りるという方法です。ただし、借入れたお金はすぐに使ってしまうので、将来の収入から返していく必要があります。そういう意味で、借入れは将来の収入を先取りする方法ともいえます。



人生には借入れが必要な場面もある

>>>
ワ17

社会人となってから退職するまでには、30~40年程度あります。その間には、借入れによって実現しやすくなるライフイベントもあります。代表的なものは「住宅購入」で、借入れという仕組みがなければ、マイホームを持てる人は少数派になってしまうはずです。



計画的な借入れは、人生を豊かにする

信用がなければ、借りられない

大学教授のAさんと、大学生のマナブくん。
2人から借金の申し込みを受けたとしたら、あなたはどちらにお金を貸したいと思いますか？
一般的に、大学生のマナブくんよりも、毎月の収入があるAさんのほうが「返してくれるだろう」という見込み＝信用があります。信用が高いほど、お金は借りやすくなります。



どっちに貸したい？

or

あなたの5万円

大学教授Aさん

- ・大学教授(定職についている)
- ・月給をもらっている
- ・戸建てを持っている

マナブ

- ・大学生
- ・収入はバイト代だけ
- ・実家に住んでいる

4つのC

お金を借りる人の「信用」とは、具体的には次の「4つのC」で表すことができるといわれています。

4つのC

Character 人格

借りたお金を期日までに返さなくてはいけないことをきちんと理解し、そうしようとする意志があるかどうか。

Capital 資産額(またはCollateral—担保)

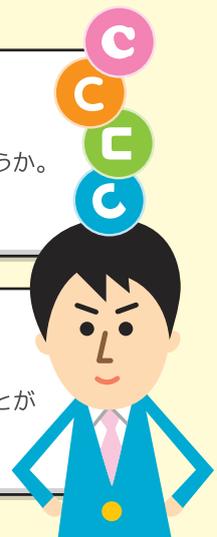
収入が減ったり、病気やケガなどで働けない事態が生じたとしても、返済が滞らないだけの資産を持っているかどうか。あるいは十分な担保があるかどうか。

Capacity 支払い能力

借りたお金を滞りなく返済していけるだけの収入があるかどうか。

Control 自己管理能力

自分の返済能力の範囲内で計画的に利用し、計画的に返済することができるかどうか。



まとめ

信用が高いほど、借りやすい